

HPV ワクチンは、HPV（ヒト・パピローマウイルス）感染が原因となる種々のがん（子宮頸がん、外陰部・肛門がん、咽頭がんなど）や良性腫瘍（尖圭コンジローマなど）の発症予防に極めて有効です。これまで HPV ワクチンの普及に積極的に取り組んできた諸外国では、すでに子宮頸がんの新規発症数が減りつつあります。一方、日本では主要新聞各社が定期接種開始時期にワクチンの安全性を否定的に伝え、厚労省は 2013 年 4 月の定期接種開始から僅か 2 ヶ月で接種勧奨を中止しました。その後、殆ど接種中止の状態が続き、妊娠・出産期の若い女性を中心に子宮頸がんが増加しています。勧奨中止による二次的健康被害が強く懸念される一方、ワクチンの高い有効性・安全性が国内外の研究で確認され、2021 年 11 月厚労省は勧奨を再開しました。2023 年 4 月 1 日から 9 価ワクチンが公費（無料）で受けられます。

9 価ワクチン（シルガード®9）：

- ✓ 小学 6 年から 26 歳までの女子は公費対象です（小学 6 年～高校 1 年は定期接種、1997.4.2～2007.4.1 生まれはキャッチアップ接種*）。
- ✓ 9 歳以上で上記年齢以外は任意自費（1 回 29,000 円税込）になります。
- ✓ 規定回数未完了の 2 価/4 価ワクチンから 9 価への乗り換えも可能です。
- ✓ 接種回数は 14 歳以下 2 回（間隔 5 ヶ月以上）、15 歳以上 3 回です。

*2025 年 3 月末までの時限措置

4 価ワクチン（ガーダシル®）：

- ✓ 9 歳以上男子は任意自費（1 回 17,000 円税込）で受けられます。

当院の HPV ワクチン接種

定期接種（公費） 9 価ワクチン

- ✓ 小学 6 年～高校 1 年 **女子**（11・12 歳推奨）

キャッチアップ接種*（公費） 9 価ワクチン

- ✓ 1997～2006 年度(1997.4.2～2007.4.1)生まれ **女子**

任意接種（自費）

- ✓ 9 歳以上 **男子** 4 価ワクチン
- ✓ 9 歳以上で上記公費対象以外 **女子** 9 価ワクチン

- 予診票はいずれも当院にあります
- 接種回数は 14 歳以下 2 回、15 歳以上 3 回
- 未完了の 2 価/4 価から 9 価へ乗り換え可能
- * 2025.3 までの時限措置